

### 平成30年市議会第1回定例会

## 当初予算案等を提出

平成30年八幡市議会第1回定例会が2月26日から3月27日まで開催され、市は第5次八幡市基本構想の策定案や当初予算案、条例案などを提出しました。  
また定例会初日、市長が平成30年度の施政方針を表明しました。  
(施政方針は、8・9面に掲載)

市が、定例会に提出した第5次八幡市基本構想の策定案が1件、平成30年度の一般会計、5特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の当初予算案8件、平成29年度の補正予算案7件、条例案17件、人事案件4件、その他案件2件、報告2件の計41件です。

一、主に条例案は、▽第7期介護保険事業計画の実施に向けて、保険料等の改正を行うための八幡市介護保険条例の一部を改正する条例案▽退職手当基金の処分規定を追加し、土地開発基金および医療費負担基金を廃止するための八幡市基金条例の一部を改正する条例案▽国民健康保険法等の改正に伴う、八幡市国民健康

## 重点分野へ集中投資

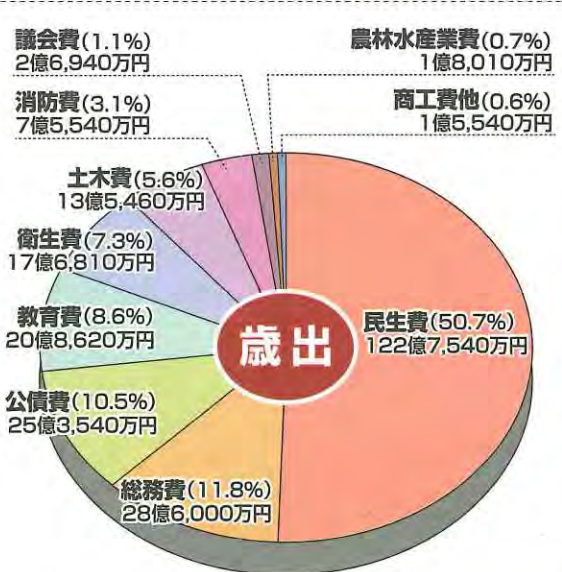
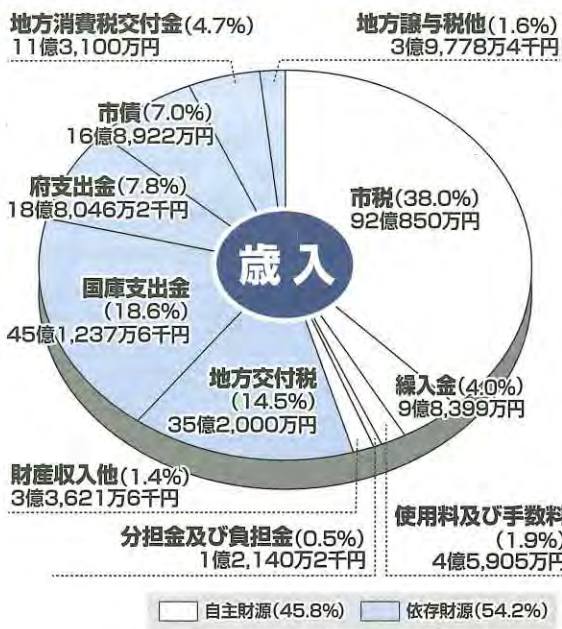
平成30年度一般会計予算案は、242億4千万円で前年度当初予算額249億6千万円と比較すると、2・9%、7億2千万円の減額となりました。

今後展開する大型投資事業を踏まえ、行財政改革の取組

をさらに推進し、限られた財源を重点分野へ効果的・効率的に集中投資することとしています(平成30年度当初予算案の主な内容は、8・9面に掲載)。

市議会は、定例会の会期中に市が提出したすべての議案等を可決・同意して、3月27日に閉会しました。

保険条例の一部を改正する条例案などです。  
人事案件は、教育委員会に人見妃都美氏(新任)任命についての同意および、人権擁護委員に岸本幹雄氏(再任)、眞柄以久代氏(再任)、澤村美幸氏(再任)を推薦することについての意見を求める議案です。



一般会計歳入・歳出 242億4千万円

区分	平成30年度	前年度からの増減
一般会計	242億4,000万円	△7億2,000万円 △2.9%
特別会計		
休日応急診療所	3,850万円	10万円 0.3%
駐車場	1,260万円	△80万円 △6.0%
国民健康保険	80億4,610万円	△17億5,740万円 △17.9%
介護保険	52億5,400万円	△1億9,100万円 △3.5%
後期高齢者医療	15億9,880万円	9,260万円 6.1%
計	149億5,000万円	△18億5,650万円 △11.0%
水道事業会計	20億6,433万6千円	△2億2,772万5千円 △9.9%
下水道事業会計	28億9,108万6千円	△1億6,397万5千円 △5.3%



### 市長の堀口です

**飛耳長目**  
市制施行40周年を機に創設した「徒然草エッセイ大賞」にたくさんのご応募をいただき、先月、第一回の授賞式を執り行いました。私も審査員の一人として、素晴らしいエッセイに出会うことができ、深く感銘いたしました。鋭い観察力、情報収集力、また、それを「書き表す力」、そうした「力」を養っていくには、色々な場所に出かけ、人と出会い、多くの経験が必

**要です。**  
将来、AIが人間の知能を超える可能性があるとされています。しかし、だからこそ、長年受け継がれてきた文化は大切です。「飛耳長目」、自らが学び、情報を収集し、将来の判断材料にしておくという意味で、吉田松陰が弟子によく語った言葉です。明治維新150年の今年、改めて、私も、日々新しい情報を収集し、学びを続け、市政を進めてまいりたいと考えております。

歳入	歳出
<b>自主財源</b> 市が自主的に収納できる市税や使用料等	<b>民生費</b> 福祉、子育て支援、保育園、生活保護等の経費
<b>依存財源</b> 国や府からの補助金や交付される地方交付税等	<b>総務費</b> 庁舎や財産維持管理、市税、戸籍、住民票、選挙、統計等の経費
	<b>教育費</b> 幼稚園・小・中学校や生涯学習の充実、文化・スポーツ等の費用
	<b>土木費</b> 道路や公園等の整備・管理費等
	<b>衛生費</b> 市民の健康、環境保全やごみ処理等の経費
	<b>公債費</b> 市の借金の返済等
	<b>その他</b> 消防費・議会費・農林水産業費・労働費・商工費等

◆問い合わせ 財政課

### 組織改正 課税部門を統合/保険料収納課を廃止

効率的な自治体経営を推進することを目的として、4月1日付けで、組織改正を行います。改正の内容は次の通りです。  
●旧課税課と旧納税課を統合し、税務課を設けます(表1)。  
●国民健康保険料徴収業務(滞納分)の京都地方税機構への移管に伴い、旧保険料収納課を廃止します(表2)。

【旧】	【新】										
<table border="1"> <tr><td>納税課</td></tr> <tr><td>課税課</td></tr> <tr><td>市民課</td></tr> <tr><td>人権啓発課</td></tr> </table>	納税課	課税課	市民課	人権啓発課	<table border="1"> <tr><td>市民部</td></tr> <tr><td>課税課と納税課を統合し、税務課に</td></tr> <tr><td>市民部</td></tr> <tr><td>市民課</td></tr> <tr><td>人権啓発課</td></tr> </table>	市民部	課税課と納税課を統合し、税務課に	市民部	市民課	人権啓発課	
納税課											
課税課											
市民課											
人権啓発課											
市民部											
課税課と納税課を統合し、税務課に											
市民部											
市民課											
人権啓発課											
<table border="1"> <tr><td>高齢介護課</td></tr> <tr><td>健康推進課</td></tr> <tr><td>国保医療課</td></tr> <tr><td>保険料収納課</td></tr> </table>	高齢介護課	健康推進課	国保医療課	保険料収納課	<table border="1"> <tr><td>健康部</td></tr> <tr><td>保険料収納課を廃止</td></tr> <tr><td>健康部</td></tr> <tr><td>高齢介護課</td></tr> <tr><td>健康推進課</td></tr> <tr><td>国保医療課</td></tr> </table>	健康部	保険料収納課を廃止	健康部	高齢介護課	健康推進課	国保医療課
高齢介護課											
健康推進課											
国保医療課											
保険料収納課											
健康部											
保険料収納課を廃止											
健康部											
高齢介護課											
健康推進課											
国保医療課											

- 旧保険料収納課の廃止に伴い、各業務は次の各課の担当になります。国民健康保険料の徴収(滞納分以外)・収納管理は市民部税務課。後期高齢者医療保険料の徴収・滞納処分・収納管理は国保医療課。介護保険料の徴収・滞納処分・収納管理は高齢介護課。
  - 統計業務の担当が政策推進部政策推進課から総務部総務課になります。
  - 公園緑地業務の担当が都市整備部管理・交通課から道路河川課になります。
- ◆問い合わせ 政策推進課

### 第5次八幡市総合計画基本計画を策定

**第5次八幡市総合計画**  
将来都市像  
みんなで創って好きになる  
健やかで心豊かに暮らせるまち  
～住んでよし、訪れてよし  
Smart Wellness City,  
Smart Welcoming City  
Yawata～



- 基本目標**
- ①ともに支え合う  
「共生のまち やわた」
  - ②子どもが輝く  
「未来のまち やわた」
  - ③誰もが「健康」で「幸せ」な  
「健幸のまち やわた」
  - ④自然と歴史と文化が織りなす  
「観幸のまち やわた」
  - ⑤しなやかに発展する  
「活力のまち やわた」
  - ⑥持続可能な  
「安心・安全のまち やわた」

2月27日に市議会第1回定例会で「第5次八幡市基本構想」が可決されたことを受け、この基本構想を実現するための施策を総合的かつ体系的に示す市政の基本的な計画である「第5次八幡市総合計画基本計画」を策定しました。

平成30年度から、基本構想に合わせた「第5次八幡市総合計画」を策定し、序論を合わせて「第5次八幡市総合計画」書として冊子にまとめ、市ホームページで公開しているほか、市役所政策推進課、情報公開コーナー等に配架しています。また、概要版を今月号に折り込んでいますので、ご覧ください。

◆問い合わせ 政策推進課